

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 小平市の災害対策について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2024年元日に能登半島地震が発生し、一か月半を過ぎた現在、電力の供給は行われるようになったものの上水道がまだ復旧していない地域が多くあることや家屋が倒壊して自宅で過ごすことができないなど多くの人が避難所で生活する状態が続いています。

小平市では2022年5月に東京都が示した「首都直下地震等による東京の被害想定」をもとに小平市地域防災計画を修正する方針です。東日本大震災や熊本地震に加えて能登半島の震災から学んだことを小平市の災害対策に反映させるべきと考え以下質問します。

- 2024年1月1日に発生した能登半島地震での教訓を小平市の防災施策にどのように反映させますか。避難所の設置、運営、福祉避難所の設置、備蓄品についてもお示しください。
- 能登半島地震では震災後、断水の状態が続くなかで井戸が多くの人々の生活を支えているとの報道があります。小平市で災害が発生した場合に生活用水として井戸を利用することについて、以下伺います。
 - 避難所などへの井戸の設置が必要と考えます。市の見解をお示しください。また設置する場合の井戸の揚水設備などの形状や災害時以外の利用方法を伺います。
 - 2017年3月定例会で採択された請願「小平市立中央公園内の井戸の修理とその利用について」の調査、修理、再生の進捗状況をお示しください。
 - 災害時の生活用水の確保のために地域で利用できるよう公園などに井戸を設置することについてご見解をお示しください。
- 家屋など建物の倒壊や焼失に備える対策について現状と課題をお示しください。
- 2022年東京都が示した「首都直下地震等による東京の被害想定」について、市の捉えを伺います。
- 被災後、まちを再建するためには従前の状態に回復する復旧にとどまらず、新しい社会のニーズに応えられるようなまちづくりが必要であり、復興への指標が必要です。ご見解をお示しください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2024年2月14日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)